

第3弾

続 皆様いかががお過ごしでしょうか？

令和3年2月7日
川口正弘

皆様、ご機嫌いかがですか。新型コロナウイルスの新規感染者も徐々に減ってきていますのでもう少しの我慢ですね。この分で行くと関西地方の緊急事態宣言の解除も、もう少しのように思われます。

4~5 日前にネットで万歩計を買いました。以前使用していたのと同タイプで時計・万歩計・ストップウォッチ等の機能が付いた商品です。これでやっと毎日の歩数のチェックができます。

今年の3月で東日本大震災から10年を迎えます。私の孫(息子の次男)が3月11日生まれで、息子の嫁の実家のある福島市の病院で震災に会い、その時分娩室に居たのを歩いて避難させられ、15分後に父親の車の中で生まれたそうです。当時は新聞や雑誌、ユーチューブ等で取り上げられて大変でした。でも日がたつに従って放射能が心配になり、人に話したら自分の別荘を提供するから、とにかく関西に連れておいでと言ってくれる人もいたりで有難いことでした。と云うことで孫の福島脱出作戦を立てました。でも道路も寸断されているのでなかなか難しく、とにかく震災の1週間後に行くことにしました。その頃ガソリンが無く、長距離は無理かなと思っていたら、ガソリンをポリタンクや携行缶に詰めて100ℓ持ってきてくれる人がいたりで助かりました。金曜日の夜10時頃に家内と二人で家を出発し、京都の五条寺町にある家内の親せきの家に寄り、お祝いとお見舞いをいただき埼玉の息子の家に向かいました。息子は震災当日福島出張中で新幹線は不通で東京に帰れず苦勞したみたいです。何日か福島にいて那須塩原迄タクシーで行き、そこから新幹線に乗り帰ったようです。話を元に戻しますが、とにかく行ける所まで行き、仮眠するつもりでしたが、緊張のせいか眠くならず海老名サービスエリアまで行き少し寝ました。それまでにトイレ休憩で寄ったサービスエリアでトラックの運ちゃんと話したら、高速からおりたらまずガソリンは入れられないので、10ℓでも20ℓでも減ったら入れた方が良いでしょうとわれ、その通りにしました。案の定、埼玉で首都高速を下りたらスタンドを頭に長だの列でした。9時頃に息子の家に着いたら、東北自動車道が12時に那須塩原迄開通するのでそれに合わせて行くことになり、11時30分に出発しました。高速を降りてからは穴ぼこだらけの国道3号線をひたすら北上し、6時頃に嫁の実家のある二本松市に到着しました。途中コンビニに寄ったのですが、食べるものは何もなく、交通の関係で補充が一切されていないとのことでした。2時間程いて、生まれたばかりの次男・長男・息子の嫁・嫁のお母さんと計7名で息子の家を目指し出発しました。着いたのは夜中の3時頃だったと思います。少し寝て9時に大阪に向け出発し、着いたのは5時頃でした。今から考えると、よくもこんな強行軍で行けたなあと思います。今では無理です!! ではまた来週!!